



あゆみこどもえんだより

令和7年2月 社会福祉法人あゆみこども園 大江町大字藤田字大花 402-4
HP アドレス <https://www.ayumi-kodomo.jp> TEL 0237(62)3220
Mail アドレス mail@ayumi-kodomo.jp FAX0237(62)3260

園長 小関 義人

先月は、間もなく春がやってきそうなおだやかな日もあれば、いつもの冬の厳しさもあったりと、体調管理が特に難しい時期でした。今月も大型寒波が間もなくやってくるという予報が出ていますので、体調管理はもちろんのこと、登降園時や出勤の際は、時間に余裕を持って安全運転で移動等お願いします。また、この時期は、様々な感染症が蔓延しやすい時期です。年齢が低ければ低いほど、体力がまだついていかなかったり、初めての冬を過ごす子は体調を崩しやすく、そのたびにお休みする家族の方も大変かと思いますが、この寒い時期を乗り越えると、体力や免疫力も高まると思います。大変なところは、家族で、おじいちゃん・おばあちゃんなどの協力をお願いしながら乗り切っていきましょう。

今年度も残すところ2か月です。一人一人の心の動きや成長と向き合いながら、笑顔いっぱいの日々を過ごせるようにしていきたいと思ひます。しっかり食事と睡眠をとり、元気に登園できるよう生活リズムを整えていきましょう。

2月の行事



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 豆まき会	4	5	6	7	8
9	10 発育測定	11 建国記念日	12	13 避難訓練	14	15
16	17	18 誕生会 礼拝	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	

3月の行事予定

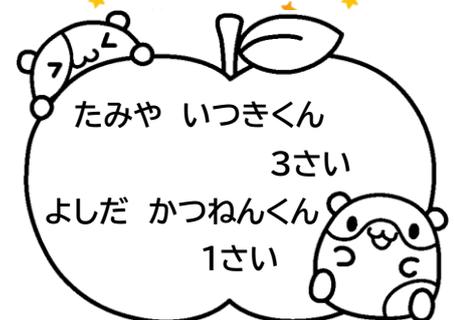
- 4日(月) ひなまつり会
誕生会
- 8日(土) 保育証書授与式
(★2歳児)
- 10日(月)～14日(金)
発育測定
- 13日(木) 避難訓練
- 18日(火) 礼拝
- 21日(金) お別れ会



【感染症に気をつけよう！】

新型コロナウイルス、インフルエンザや溶連菌、感染性胃腸炎などの感染症が流行しています。手洗いやうがいを徹底し、マスクをつけ人ごみを避けるなどして予防しましょう。また、睡眠も十分に取、免疫力の低下を防いで元気に過ごせるようにしましょう。感染症の予防には、みなさんの「かからない」、「うつさない」という気持ちがとても大切です。

※引き続き本人、家族が感染症に罹患した時には、お知らせください。



【守られることで、子どもは、「自分は**大切**な存在なんだ。」とわかります。】

—かわいい子育て— 佐々木正美 氏

子どもの言うことをよく聞いて、望むことを望むようにしてあげてください。たくさん甘やかしてあげましょう。なぜなら、守られているという安心感が、子どもの根っこを作るからです。

赤ちゃんはお腹がすいたと泣けばおっぱいがもらえる。

不快で泣けば濡れたおむつを取り換えてもらえる。

それは、「不安→でも大丈夫→不安→でも大丈夫」という経験の繰り返しです。

幼児期になっても同じです。「抱っこして」と言ったらギュッと抱きしめてもらえる。「こわいよ」と泣いたら「ママがついているから大丈夫」と守られる。

わたしは、そんな子育てについて「子どもは過保護にしない。たくさん甘やかしましょう」と言ってきました。過保護にしてあげる時期は子どもが望むならばいつまでも……。少なくとも三歳までは「厳しくしつけなきゃ」などと考えず、思う存分、過保護にしてあげていいのです。

「過保護」とは、文字のとおり、「過剰」に「保護」してあげること。子どもが望むことを望んでいる以上にしてあげると、子どもは深い安心感とともに成長します。

安心感は人間の心の土台になるものです。親から愛されているということを確認しながら、子どもたちは、「ぼくは大切な存在だ」「わたしは生きていていいんだ」という気持ちを育てていくからです。では、子どもを甘やかすとはどんなことなのか、実際の例を少し紹介してみましょう。

★ギュッと抱きしめる。笑顔でだきしめる

ギュッと抱きしめると、どんな言葉で表現するより、たくさんのおもいが伝わりますね。もちろん笑顔をお忘れずに…。子どもから求められていないのに抱きしめることだってアリです。うれしいときも、泣いているときも包み込むように抱っこします。

★話しかける。わからなくてもたくさん話しかける。

言葉がわからない赤ちゃんに声を出して話しかけると、不思議にお母さんの孤独もいやされるのです。「おむつが新しくなって気持ちいいですね。」と話しかけると、気持ちいいという子どもの喜びを共有することになります。

★待つ。の～んびり待つ。

子どもってどうして真っすぐ歩かないのでしょうか。あちらこちらに寄り道しては、なにかおもしろいことを見つけます。それも大人目から見たら、どこがおもしろいのかよくわからないことも多い。時間がない時はともかく、待てる時は待つ。これは甘やかして育てることの基本中の基本。簡単なようで実はむずかしい、甘やかしの一つです。

★不安な気持ちを受け止める。

「こわい」と立ちすくんだ子どもに、「弱虫ね」なんて言っていないですか。「こわいね～」とその気持ちを受け入れて、子どもと不安を共有して、それから「大丈夫よ」と守ってあげる。守られているという安心感とともに子どもは「こわさ」を一つ克服していきます。

★お話を聞く。心の声も聞く。

何か話そうと一生懸命な子どもの言葉。さえがらずにゆっくり聞きましょうね。さみしい気持ち、悲しい気持ち、怒りや不満も「そうなの。悲しかったね。」「さみしかったね。」とまずは全部受けいれます。すると、子どものモヤモヤは消えていきますよ。

★いっしょに笑う。手をつないで歩く。

いっしょに遊ぶ。

親のやることを子どもたちはよく見ていて、そして真似をします。親子で手をつないで歩き、いっしょに遊び、いっしょに笑う…。子どもが一人で歩くことを望むまでは、手をつないでいっしょに歩きましょう。お風呂の入る方だって親を見ながら覚えていきます。

忙しい毎日だらこそ、子どもとの時間は貴重な時間です。子ども達に、言葉で「だいすき」と伝えたり、「ぎゅっと」抱きしめたり、一緒に絵本を読んだり・・・そんな時間が少しでも増えますように♡♡♡